タイトル

持家一戸建

講評

築70年の古民家を新築並みの費用をかけて見事に再生。35ページの作 品と共通する「トップライトで梁組を見せる」手法は非常に効果的。金属板 葺の屋根はイメージを一変させると共に軽くもなり、耐震的にも有効。

リフォーム前後の写真





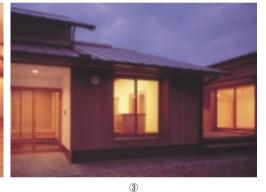
高棚の家

リフォーム前



(2)







4



1

リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想 など 《リフォームの動機》 《施主の感想》 ・老朽化したため ・改修前には暗かった北側の部屋でも採光が出来た点 ・思い入れある家をなんとか残したいという施主の考えから ・吹き抜けによる空間の開放感の良さ 《設計・施工の工夫点》 ・耐震診断 ・古い材料を利用したデザインと空間造り

特に配慮した住宅性能など:耐震補強 省エネルキー バリアフリー 住む人の健康 その他	
--	--

データ								
所在地	愛知県安城市		構造/築後年数	₹:	主来木	造 /	70	年
該当工事面積	173.93	m²	該当部分工事費		3,0	00		万円
居住者構成	6 人(大人 15歳以上						_	
設計者	(有)矢田義典設計室		担当者	矢田	義典			
施工者	(株)佐野組		担当者	佐野	幹生			

リフォーム前

